

信は日高ない☆

～信じる者は救われる！



2019年11月22日
NO. 30!

祝・通信「第30号」!

今週火曜日は、国語総合の「研究授業」でした(^_^)v

～30号に際し皆さんの作った「俳句」を一挙大公開!!

「俳句」と聞いて、やはり第一に浮かぶ名前は、

「俳聖」として名高い「松尾芭蕉」を置いて他にはありません!

ふる いけ かわず と みず
「古池や 蛙飛びこむ 水のおと」

しずか いわ い せみ こえ
「閑さや 岩にしみ入る 蝉の声」

※「しずけさ」ではなく、正式には「しずかさ」なのだそうです!

なつ くさ つわものども あと
「夏草や 兵共が ゆめの跡」

この三句はあまりにも有名な芭蕉の作品で、「五・七・五」のわずか「十七語」にもものすごい「世界観」・「宇宙観」が込められ表現されている、「名句中の名句」といえます。その他、「すすめの子 そこのけそこのけ お馬が通る」(小林一茶)、「柿くえば 鐘がなるなり 法隆寺」(正岡子規)なども有名な句ですね～! 皆さんも一度や二度、目にしたり耳にしたりしたことがあるでしょう。

さて、それでは今週火曜日における国語総合の「研究授業」で、わがクラス11名が詠んだ「名句」を「30号」記念で一挙大紹介!! 生徒たちの授業姿勢は大変良好で、ご指導いただいた教育局の先生から絶賛をいただいた出来映えの生徒もいました。

ここ数週間慣れない俳句と向き合ってきたの発表、大変お疲れ様でした!!

それでは、授業中のスナップとともに以下の十二句をどうぞ～(^_^)

<授業中のスナップ～11/20(火) 1校時：国語総合>



< 11名の俳句作品、計十二句！ >

「桜花 螢の光 夜を照らす」 by YUKI

本人解説：「私は、ふと春を想像してみました。そして私は春といったら桜を思い浮かべてみました。そこから私は、色々と想像を膨らませ、夜（よる）をシチュエーションし、何かと雰囲気があるなと思い、考え抜いた末、私は螢が出す光に着目し春の夜空に螢の光が照らしだされ桜の花が見えたらロマンチックだなと思い、この句を考え抜きました。」



「雪解けや 花も笑えば 山笑う」 by HARUO

本人解説：「雪が解け春になると動植物が活発になり山も青々とした草木が生い茂っているという状況をイメージしてこの句を作りました。」

「夕暮れに 雪虫連れて 高校へ」 by MANATO

本人解説：「ある日の秋の夕暮れ、高校へ行くため歩いていて気付くと服に雪虫が付いていた。しかしついた雪虫を払わずそのまま一緒に高校まで付けて行く。」



「星の下 夜学受けるが 閉じゆく目」 by MANATO

本人解説：「ある日の夜、星が輝く空の下、ある定時制の学校で授業を受けているが、徐々に睡魔が襲ってきて、気付いたらまぶたが落ちていて眠りについていた。」



「月氷る 輝く夜空 君照らす」 by REON

本人解説：「二人で夜散歩に行ったときにいつもよりも鋭い光が彼女を照らし出していた。」



「かじかむ手 手に吹きかける 白い息」 by KANAU

本人解説：「冬の朝、外に出ると肌が痛いほど寒かった。寒いから息が白く見える。手を温めようと白い息を手に吹きかけた。その様子が冬らしく、もっとも冬を感じさせる瞬間だと思い俳句にしました。」



「夜明け時 スープで腹が 起きだした」 by TSUBASA

本人解説：「夜が明けて目が覚めるとき、寒い冬の時期で目が覚めにくい時に、温かいスープの匂いがお腹に伝わり、スープの匂いで体もお腹も目を覚ました。」



「道長に 思いをさせる 秋の夜」 by SHUNICHI

本人解説：「2018年は藤原道長が「この世をば わが世とぞ思ふ 望月の 虧（かけ）たることも なしと思へば」と詠んだ寛仁2年（西暦1018年）からちょうど1000年後。1000年前に思いをはせて夜空を眺めるのもまた趣があるのではないのでしょうか。」



「君想い 出会えぬ瞳 沁みる梅雨」 by YUTA

本人解説：「ある日の朝、僕はボーっとおおしていた。不意に頭の中に僕が思う大切な人のあの美しい瞳が浮かんだ。だけどその人に会うことはできない。とても悲しい、それと同時に今大切な人に会えないという悔しさもある。僕は気づかないうちに涙が出てきていた。ふと外を見てみると梅雨のせいで雨が降っていた。途端、その雨が僕の心に強く沁みてきたような気がした。」



「梅が咲く 酸っぱく甘い 君の恋」 by RYUYA

本人解説：「私は俳句を考えると春で行こうと考えました。春を想像してみると、梅が頭に思い浮かびました。梅と言え酸っぱいと甘いという勝手な印象です。春は、出会いと別れの季節ということ、恋を想像しました。恋も上手くいくことあればいけないこともあり、ある意味酸っぱくあまいです。そこで、梅と恋をかけたのを二区切りにいれました。最後は、そのまま、君との恋は甘くて酸っぱいということ。なのでこの俳句にしました。」



「富士登頂 月に届かぬ 小さな手」 by KOSUKE

本人解説：「夏休みに数日間かけて富士山の登頂に挑戦した。登頂しきるとすでに日が暮れており、月が出ている。日本一高い山を登り切ったというのに、そこに見えるのは普段眺める時と何も変わらない月。自分の脚を必死に動かし、数日間もかけて登ったが、あの月には少しも近づけていない。この富士山を踏み台にして手を伸ばしても、もちろん届くことはない。所詮は数日間だけの苦勞。何事でも遥かなる高みに上るには、そんな付け焼刃では意味のないことだと思った。」



「郷恋し 二つ星みて 浮かぶ顔」 by SHUNGO

本人解説：「夏の夜に、離郷で空を見上げた時に自分のふるさとよりも、はつきりと見える星空に特に輝いて見えた2つの星、その星に重なり思い出す顔。その時、故郷が恋しいと思った。」



・・・以上でした！「俳句初心者」にしてはなかなかの出来映え(^_^)
これを機に、「和（日本人）の心」をより深く学んでいこう！！

保護者の皆様へ

先週の火～金曜日、「行事目白押し」から週が明け、今週は上にも紹介させていただいたとおり、国語総合の授業において各々がつくった「俳句」の発表がありました。スナップをご覧いただいている通り、質疑応答のやりとりが結構盛り上がり、時間が押してしまつて2名の発表を次の時間へと残してしまいましたが、各自パワーポイントソフトを駆使しての発表はなかなか立派なものでした。国語に限らず、「全員参加」の授業姿勢が最近では多々見られ、担任としては大変喜ばしくかつ誇らしく思います。今後も継続し、より一層仲間同士の「信」を深めていって欲しいと切に願っています。

さて、日高では一昨日からようやく「初雪」が降り積もりました（大いに喜んでるのは私くらい!? 笑）(^ ^)v 順調に雪が積もり、週末3連休に富良野スキー場がオープンすれば、来週明け月曜日からスキー特科クラスはいよいよ「産学スキー授業」の始まりです。年内の予定では、スキー特科クラスが「12回」、スキー基礎クラスが「4回」、キャリアコースが「1回」、富良野スキー場を往復する予定です。これからは本格的な「日高高校デビュー」ともいえます！上の俳句にもありますが、「昼間滑って夕食後の夜学」は、間違いなく『「睡魔」とのたたかい』です！！これからは、「本番」。お子さまには、冬季間の日高生活を満喫して欲しいです。

～1週間をふりかえって～ 8.YUTA くん の巻



今週の担当は、YUTAくん(写真は3年生の話聞く会のカット!)です!!

平成30年11月19日月曜日	～	11月22日木曜日	担当 松本祐太
<今週の採点> 最高の週間 ← 5 ・ ④ ・ 3 ・ 2 ・ 1 → 最低の週間			
<今週の感想> 今日まで雪が降りました。昨日は初雪が降りました。今日からテスト週間になりました。今日は保健もテストがあるのですがラズボートも赤点が出ないことを願っています。もうすぐで冬休みになるのであとの数日もがんばりましょう。 → 20日だね...			

→保健のテストは、全員50点以上目指そう!!

来週の予定

☆今週は「4日間」で、あっという間でした!

さあ、いよいよ来週は期末テスト。あと5日、必死に勉強をガンバレ!!

11/26(月)～27(火) 平常授業

* 28(水) 2学期期末考査0日目:4校時「保健」

* 29(木) 2学期期末考査1日目:

①自習(数I) ②「数I」 ③「家庭」 ④「国総」

* 30(金) 2学期期末考査2日目:

①自習(現社) ②「現社」 ③「科学」 ④「コ英基」

<日々確認!>

日高高校1年生の約束

① 1学年テーマ「信」をいつも忘れずに!

⇒まずは自分に嘘をつかず「自らを信じる」ことが大切。「仲間を信じる」こと以前に「自分に嘘をつかない」こと!そして、相手の立場・気持ちを「尊重」しましょう!!

② 正しい「言葉づかい」、気持ちの良い「挨拶」をする!!!

⇒最近幾分良くなっただけですが、まだまだ甘い。「誰かがやるさ」ではなく、「まず自分自身から」、元気の良い「挨拶」を!!

③ ルール・約束事・しめ切りなどをしっかりと守る!!!

⇒最近はどうですか? いつも言っていますが、「当たり前」の事を「当たり前」に行おう!!

そして・・・他人の悪口を言わない、書かない!!!!!!

⇒最近あまり聞こえてきません。意識してくれているのかな? 他人の批判ばかりしていても、人生ちっとも楽しくないよ!「信」の基本は、この姿勢を貫くことです!!

われわれの合言葉は、もちろん、

「信」 (^_^)v